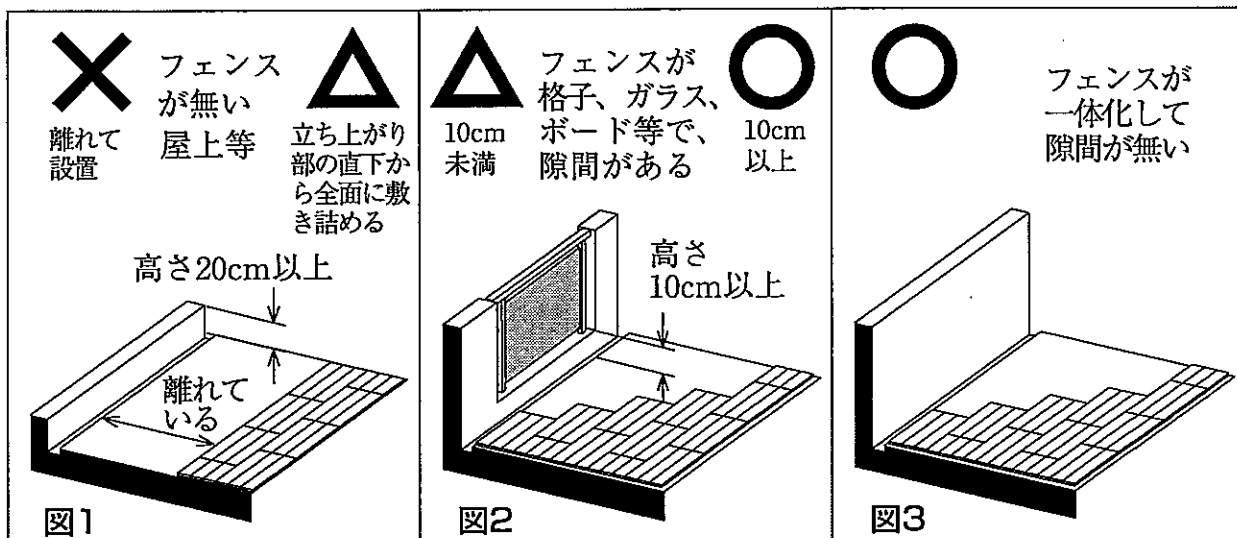


施工マニュアル

■施工の際には以下の事を守り、お客さまにケガや事故の無いように安全な施工をしてください。

A. 施工場所の条件

まず、設置場所のバルコニーのフェンスの状態を確認してください。



以下の場合には施工できません。

✕ ●バルコニーのフェンスが無い場所。 →図1

●立ち上がり部の無い屋上等

●回りの立ち上がり部が20cm以下の場所。

●20cm以上あっても、立ち上がり部から離れた場所に設置する場合。

⚠警告 →強風で飛散する可能性がありますので、絶対に設置しないでください。

△ ●バルコニーのフェンスが無い場所でも、回りの立ち上がり部が20cm以上あり、立ち上がり部の直下から全面に敷き詰められる場合。 →図1

⚠警告 →風対策のサイドスカートを取り付けて設置してください。

△ ●バルコニーのフェンスが格子、ガラス、ボード等で、隙間がある場合で、立ち上がり部が10cm未満の場所。 →図2

⚠警告 →風対策のサイドスカートを取り付けて設置してください。

○ ●バルコニーのフェンスが格子、ガラス、ボード等で、隙間がある場合でも、立ち上がり部が10cm以上ある場所。 →図2

→そのまま設置できます。

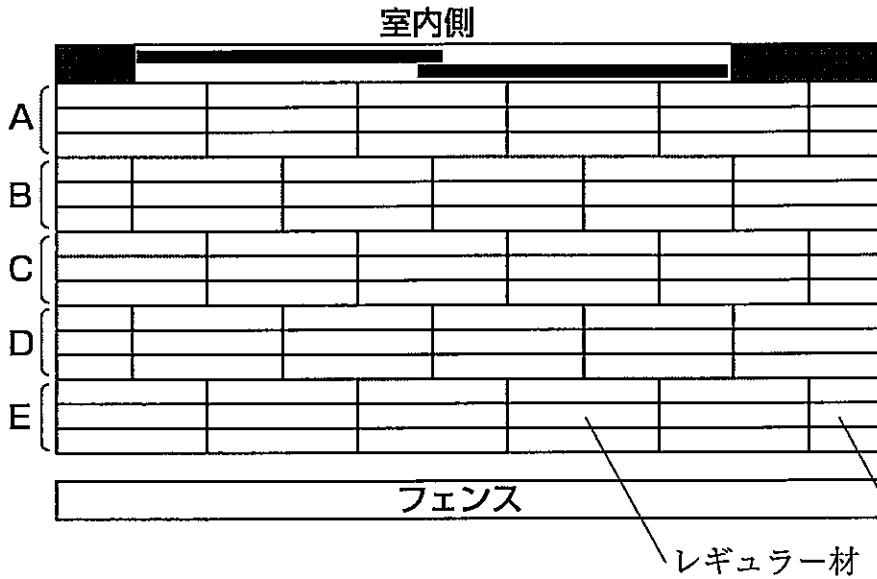
○ ●バルコニーのフェンスが一体化していて隙間が無い場合。 →図3

→そのまま設置できます。

B.施工の基本1

■施工の基本は【うま貼り】です

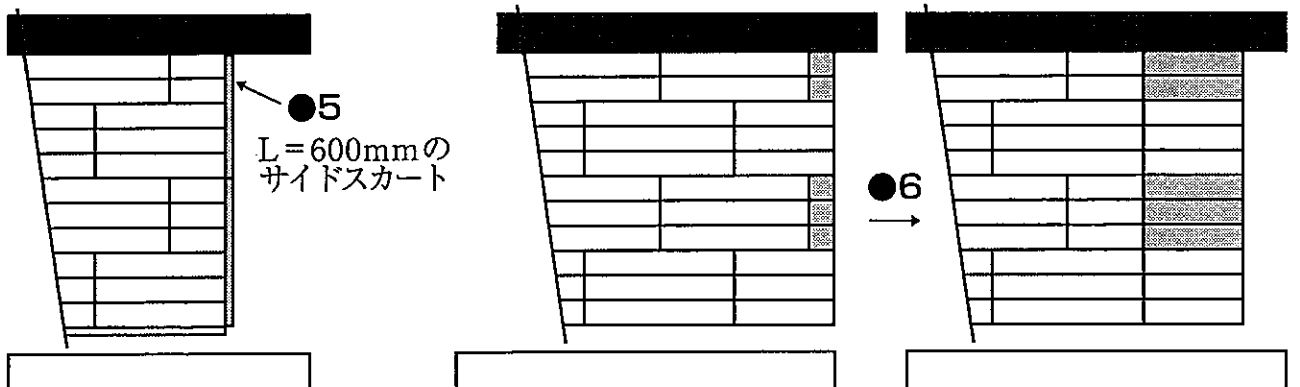
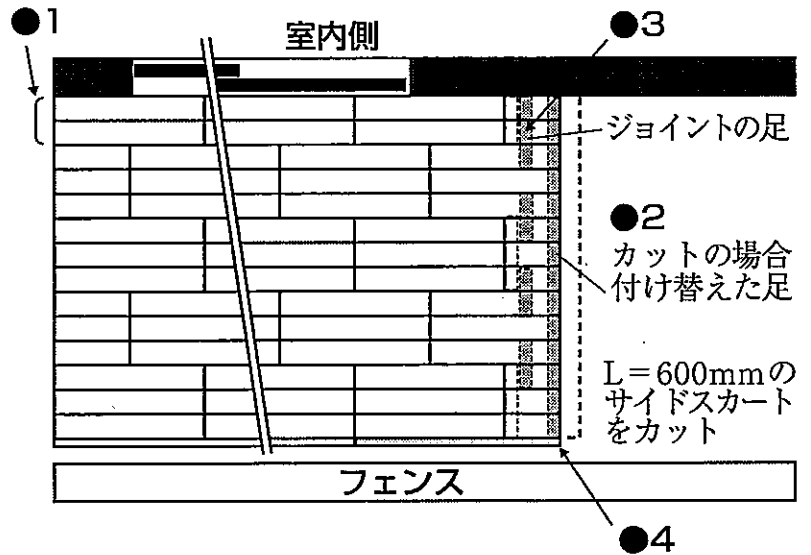
うま貼りが基本です。室内側から並べて施工するのが基本です。



A列に1列、B→C→D→Eと1セット並べてみてください。必要な加工と枚数が、割りだせます。避難ハッチがある場合は、その廻りから並べたほうが加工が少ない場合もありますので現場で、判断してください。

■施工上の調節の基本

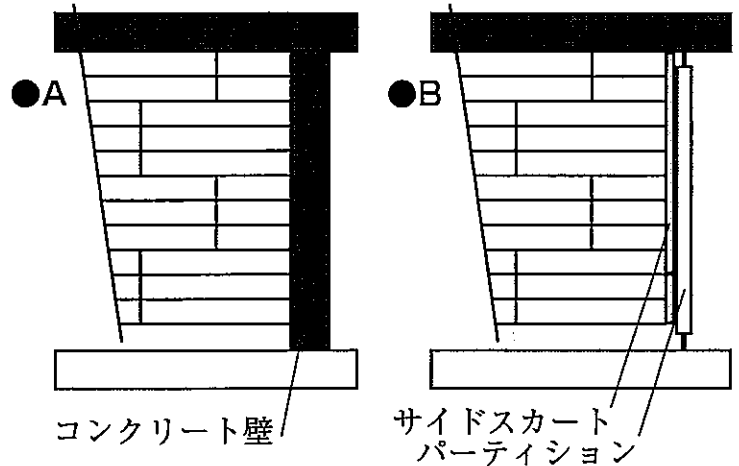
- 1：幅側の調節が必要な場合は、室内側での切り落としを基本としてください。（1列又は2列の場合はカッターで切り落とし、任意の幅の場合は鋸でカット）
- 2：カットした場合、足を必ずエンド部に付け替える。
- 3：長手方向端部の調節の際に、小さく切った材は隣の材と下部でジョイントする。
- 4：長手方向のサイドスカート取り付けで調節が必要な時は、エンド部は600mmのものを使用して隣と連結する。
- 5：木口側のサイドスカートは1又は2枚に切り落とした場合は400又は600mmのものを使用して隣と連結する。
- 6：ミニ材より短くなる場合の調節は、レギュラー材で対応する。



B.施工の基本2

■隣家との仕切りの処理

- A：隣家との仕切りがコンクリートなどの壁でできている場合。
→通常の施工処理で行ってください。
- B：隣家との仕切りが非常時には壊して移動するパーティションの場合。
→サイドスカートを使用してください。
その際にパーティションの厚み下から、はみ出ないように施工してください。

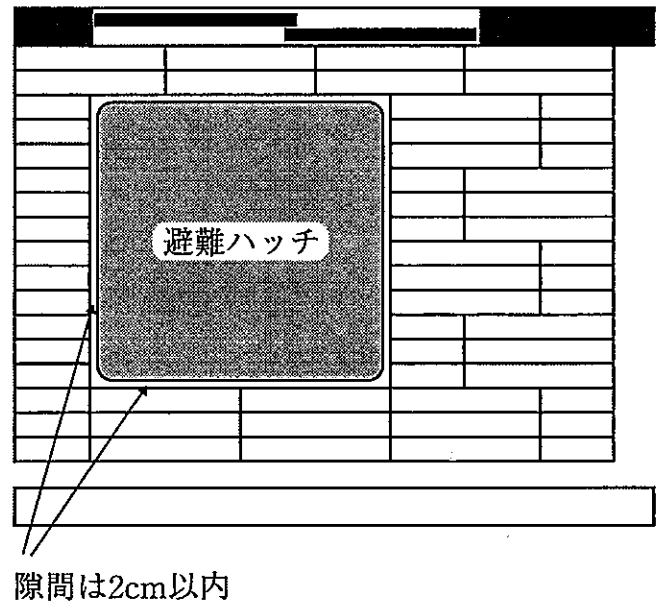


■避難ハッチ廻りの処理

ハッチ廻りの隙間は2cm以内に仕上げる。少ない調整の場合は隙間調整材を使用する。
ハッチ廻りから設置して端部の後加工が少ない場合は、ハッチ廻りの加工も不要ですので、現場で判断してください。ハッチは約76cm角のものがほとんどです。
ハッチの作動が問題ないように、手掛け部分、ヒンジ部分が当たらないように確認してください。

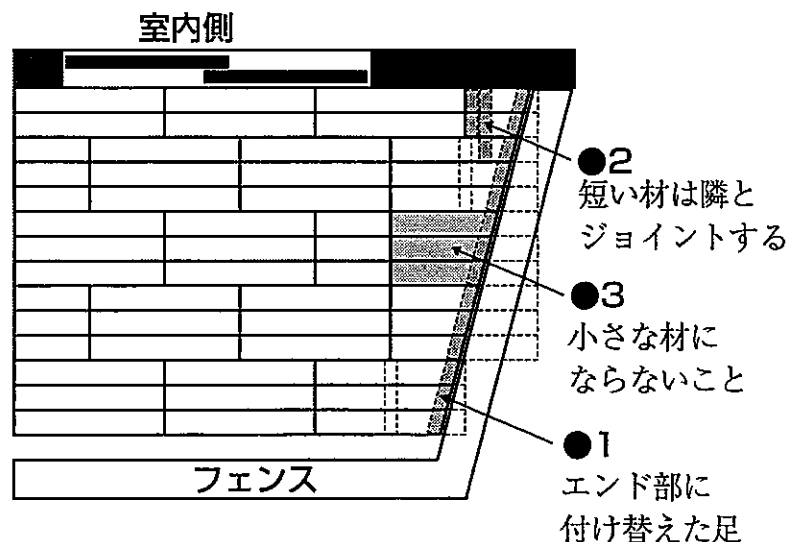
(隙間調整材：

W20×H40×L200,400mmの2種)



■斜めのエンド処理

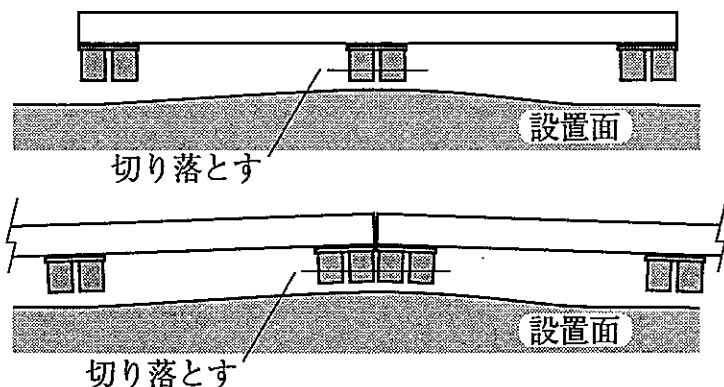
- 1：端部が落ち込んでシーソー状態にならないように必ずエンド部に足を付ける。
- 2：短くなった材は隣とジョイントして固定する。
- 3：カットするとき、極端に小さな材にならないように調整する。



G. 施工上の注意

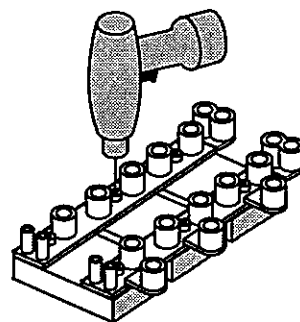
■設置面の不陸（凸凹面）への対応

不陸があるとシーソー状態になりあぶないので、中央部の足を少し短く切り落として調整する。ジョイント部が盛り上がっている場合は、上がっている下部の足を切り落とす。



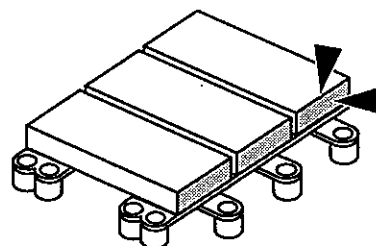
■カットして短くなった木材への足の取り付け処理

小さくカットした材（ミニサイズ以下）は足を取り付ける際に、必ず下孔を開けてから取り付ける。（φ2.3～2.5）木材の性質上、下孔を開けずにねじを打ち込むと割れます。



■カットした木材の端面処理

カット面を必ずサンドペーパーで仕上げ、面取りもしてください。ささくれや切り傷の原因となります。



■すべりやすい現場でデッキが全体に移動してしまう場合の処理

下図のように、デッキ下部にすべりを押さえるようにデッキ材を利用して止める。目安として、4枚ごとに1箇所位。

